

京都は千年以上もの長きにわたり都として栄え、雅な宮中文化が育まれ、今なおさまざまな形で市民生活の中に息づくとともに、東京の皇居以外に唯一現役の御所があります。

こうした日本の歴史、そして皇室と京都との関わりを踏まえ、京都では、皇室の弥栄を願う「双京構想*」の実現に取り組んでいます。

この度、双京構想推進検討会議（京都市 京都府 京都商工会議所）では京都アスニーとの連携の下、以下のとおり連続講座を開催します。

* 双京構想とは

いやさか
日本の大切な皇室の弥栄、そしてわが国の伝統を守り、文化を発展させるため、皇室の方々に京都にもお住まいいただき、政治・経済の首都である「東京」と、歴史・文化の首都である「京都」の双方で、わが国の都としての機能を果たしていくという構想

令和6年度 双京構想連続講座テーマ「婚姻からみた京都の皇室」

① 7月12日(金)

平安前中期の朝廷と摂関家
— 藤原基経を中心に —

ところ いさお
所 功（京都産業大学名誉教授）

② 7月26日(金)

平安後期の朝廷と平家
— 平清盛を中心に —

くれ あさお
久禮 旦雄（京都産業大学准教授）

③ 8月 9日(金)

鎌倉時代の朝廷と幕府
— 源実朝を中心に —

こばやし かずひこ
小林 一彦（京都産業大学教授）

④ 8月23日(金)

室町時代の朝廷と幕府
— 足利義満を中心に —

やまだ とおる
山田 徹（同志社大学准教授）

⑤ 9月13日(金)

江戸前中期の朝廷と幕府
— 後水尾天皇から光格天皇まで —

わかまつ まさし
若松 正志（京都産業大学教授）

⑥ 9月27日(金)

江戸後期の朝廷と幕府
— 孝明天皇を中心に —

よしの けんいち
吉野 健一（宮廷文化研究家）

※講師名については敬称略

双京構想

連続講座

参加料
無料

会場

京都市生涯学習総合センター
京都アスニー〈4階ホール〉
(中京区丸太町通七本松西入)

時間

各回とも
午前10時～11時30分

定員

400名(予約不要、当日先着順)

※直接会場にお越しください。なお、満員の際は御入場いただけない場合がございます。

京都アスニー

検索

<https://asny.ne.jp>

双京構想連続講座について

京都市総合企画局人口戦略室京都創生担当 TEL (075)222-3375 FAX (075)212-2902

主催：双京構想推進検討会議（京都市 京都府 京都商工会議所）

京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）

後援：関西広域連合



「婚姻からみた京都の皇室」

平安建都から千年余り京都で続いた皇室は、有力な公家・武家との婚姻を結ぶことによって、権威を保ち、政治的・文化的な役割を果たしてきました。その多様な関係を最近の研究も交えながら平易に説明します。

令和6年

① 7月12日(金)

平安前中期の朝廷と摂関家 — 藤原基経を中心に —

奈良時代から明治時代まで、皇室に最も多く后妃を入れてきたのは、藤原氏とりわけ摂関家です。その基盤を築いた藤原基経（836～891）の巧妙な政略を中心にして、玄孫道長（966～1027）の栄華にまで説き及びます。



京都産業大学名誉教授
所 功

② 7月26日(金)

平安後期の朝廷と平家 — 平清盛を中心に —

平安時代後期、「武者の世」の到来を告げた保元の乱と、続いての平治の乱に勝利し、政権を掌握したのが平清盛でした。天皇に娘を入内させ、太政大臣に就任したため、貴族的とされる彼の政権構想はいかなるものであったのかを明らかにします。



京都産業大学准教授
久禮 旦雄

③ 8月 9日(金)

鎌倉時代の朝廷と幕府 — 源実朝を中心に —

壇ノ浦の戦い以後、貴族たちは平家一門から、一転、今度は争うように源氏の血を引く女性との婚姻に走ります。頼朝・政子も娘を入内させようと望み、実朝には京から姫君が輿入れしてきました。頼朝・実朝父子の和歌を読み解きながら、当時の朝幕関係を垣間見てみましょう。



京都産業大学教授
小林 一彦

④ 8月23日(金)

室町時代の朝廷と幕府 — 足利義満を中心に —

室町時代、足利將軍家は娘を入内させることはありませんでしたが、天皇家・朝廷と深い関係にありました。その背景について、お話し致します。



同志社大学准教授
山田 徹

⑤ 9月13日(金)

江戸前中期の朝廷と幕府 — 後水尾天皇から光格天皇まで —

江戸時代前期の後水尾天皇から中期の光格天皇（即位）までの時代における朝幕関係の展開と天皇の婚姻・後継ぎ問題について、最新の研究を踏まえ論じたい。



京都産業大学教授
若松 正志

⑥ 9月27日(金)

江戸後期の朝廷と幕府 — 孝明天皇を中心に —

孝明天皇の時代には、「内憂外患」により朝廷の地位が相対的に高まり、それが明治維新へつながったとされています。本講座では、孝明天皇の視点から、当時の朝廷と幕府の関係や孝明天皇が目指したことを考えます。



宮廷文化研究家
吉野 健一